

静岡県海外駐在員(報告者)と各事務所のご紹介

中国：石川 祐介

地域外交課主査などを経て、2023年6月に着任。週末にはシティウォークを楽しむ。
静岡市葵区出身 47歳



中国に展開する県内企業の支援を目的に、1994年に開設されました。現在は観光インバウンド誘客、航空路線の復便、県産品輸出支援など、県内在住の皆様にも交流の×リットを感じられる活動に注力しています。

韓国：石ヶ谷 彰英

空港振興課、大阪事務所を経て、2025年4月に着任。休日は美術館、博物館巡りや珈琲を飲みながら読書。
静岡市清水区出身 61歳



富士山静岡空港開港2年前の2007年に開設。韓国における本県のプレゼンス向上を目指して、静岡とソウルを結ぶ航空路線の利用拡大や観光誘客、自治体・民間団体の交流促進、県産品販売や経済交流の拡大や本県の魅力をSNS等により情報発信するなど、様々な取組を行っています。

空港振興課主査などを経て、2023年4月に着任。休日の楽しみは鉄道でのプチ旅行。小学生の息子と母子駐在中。
磐田市出身 46歳

台湾：市川 美奈子



静岡県と台湾との経済・観光・スポーツ・青少年などの交流の促進を目指し、2013年4月に開設されました。県産品販路開拓、観光誘客、防災分野での交流など、親日的な台湾と一層の交流を進め、静岡県と台湾の皆様喜んでいただけるよう取り組んでいます。

東南アジア 村川 未帆



東京事務所総括主査などを経て、2025年4月に着任。週末は屋台やウェットマーケットの散策を楽しむ。母子駐在中。
静岡市葵区出身 46歳

1988年7月、ジェットロシフガポール事務所静岡ディビジョンとして駐在員派遣を開始。2013年6月にジェットロから独立して静岡県東南アジア駐在員事務所が開設されました。

成長著しい東南アジア、南アジア、オセアニアを管轄し、静岡県企業の支援、県産品販路拡大、観光誘客促進、地域間交流の促進等に取り組んでいます。